| 学校番号 | T0104 |
|---|---|

# 令和３年度　情報科

| 教科 | 情報 | 科目 | 情報の科学 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 新・情報の科学　（日本文教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 「情報とは何か」というテーマを元に、様々なメディアを用いた体験的な学習を通して、五感を使いながら「情報」について理解を深めましょう。
- コンピュータやネットワークを活用した「協働」作業を行うことができる技術を身につけ、知識基盤社会を生き抜くための力を養いましょう。
- コンピュータの仕組みや特徴を理解し、ディジタル機器を適切に扱い管理できる力をつけましょう。

2　学習の到達目標

- 身の回りの「情報」に気づくことができ、適切に扱うことができる。
- 「情報」を適切に扱うにあたり必要な知識・技術を習得する。
- コンピュータやネットワークを活用した、「情報」の収集・処理、適切なコミュニケーションが行えるようになる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画しようとする。 | 情報や情報社会における身の回りの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現している。 | 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための技能を身につけ、効果的にコミュニケーションを行っている。 | 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身に付け、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している。 |
| 評価方法 | ・学習状況の観察<br>・プリントやワークシートの記述<br>・実習作品<br>・発表<br>・相互評価、自己評価 | ・学習状況の観察<br>・プリントやワークシートの記述<br>・実習作品<br>・発表<br>・相互評価、自己評価 | ・学習状況の観察<br>・実習作品<br>・課題作品<br>・発表<br>・実技テストの結果 | ・学習状況の観察<br>・プリントやワークシートの記述<br>・実習作品<br>・発表<br>・筆記テストの結果 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 前期 | 私たちを取り巻く情報<br>❶情報とメディア<br>❷信頼できる情報と信頼できない情報<br>❸情報の見極め | ・メディアの種類と特徴を理解する。<br>・情報の信頼性について評価する。<br>・メディアリテラシーについて理解する。 | | ○ | | ○ | b:メディアからの情報を客観的に評価している。<br>d:メディアの種類と特徴を理解している。 | ・授業観察<br>・プリント<br>・小テスト<br>・発表 |
| | アナログからディジタルへ<br>❶情報のディジタル表現<br>❷ディジタルデータの特徴 | ・10 進法と 2 進法、16 進法について学ぶ。<br>・ディジタル表現の種類とその利点･問題点について学ぶ。<br>・写真や画像の編集を行う。 | | | ○ | ○ | c:写真や画像の編集を行うことができる。<br>d:2 進法や 16 進法の考え方を理解し、10 進法と変換することができる。<br>d:アナログとディジタルのそれぞれの特徴を理解している。 | ・授業観察<br>・プリント<br>・小テスト<br>・発表 |
| | 情報の表現と伝達<br>❶情報の表現と伝達の仕組み<br>❷伝達や発表のための手段 | ・コンピュータによる情報伝達の特徴と注意点について学ぶ。<br>・適切なメディアの選択について学ぶ。<br>・情報を整理して、図形などを用いて表現する。 | | ○ | | ○ | b:目的に応じて、適切なメディアを選択することができる。<br>b,d:情報を整理し、分かりやすい図解表現ができる。<br>d:コンピュータによる情報伝達の特徴と注意点について理解している。 | ・授業観察<br>・プリント<br>・小テスト<br>・発表 |
| | ❸効果的なプレゼンテーション | ・プレゼンテーションの重要性について学ぶ。<br>・ソフトウェアを活用してプレゼンテーションを行う。<br>・相互評価を行う。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a,b:内容が分かりやすくなるように、展開を工夫している。<br>b,c:分かりやすく伝えるための効果的な方法を選択している。<br>d:相互評価を通して、スライドや発表を振り返ることができる。 | ・授業観察<br>・課題制作<br>・小テスト<br>・発表<br>・自己評価<br>・相互評価 |
| 後期 | 1　インターネットの利用<br>❶インターネットの仕組み<br>❷WWWと電子メール<br>❸情報の検索 | ・インターネットや電子メールの仕組みを学ぶ。<br>・効率よく情報を検索する方法について学ぶ。 | | | ○ | ○ | c:AND、OR、NOT を使って効率よく検索ができる。<br>d:インターネットや電子メールの仕組みを理解している。 | ・授業観察<br>・プリント<br>・小テスト<br>・発表 |
| | 2　ネットワークとコミュニケーション<br>❶メディアの発達<br>❷多様な情報発信<br>❸ネットコミュニケーションの特徴 | ・メディアの変遷について学ぶ。<br>・インターネット上のメディアについて学ぶ。<br>・インターネット上のメディアを利用するコミュニケーションの特徴と注意点について学ぶ。 | | ○ | ○ | ○ | b:誤解を受けないような表現をしている。<br>b:効果的なマークを考えている。<br>c:画像の編集を行うことができる。<br>d:メディアの種類と特徴について理解している。<br>d:インターネット上のさまざまなコミュニケーションの特性を理解している。 | ・授業観察<br>・プリント<br>・小テスト<br>・発表 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 情報化の影響と課題<br>❶誰でも表現者・発信者の時代<br>❷情報社会の影<br>❸情報セキュリティ<br>❹情報モラル<br>２　法律と個人の責任<br>❶情報社会と著作権<br>❷個人情報の保護 | ・情報犯罪や迷惑行為と安全対策について学ぶ。<br>・情報社会における望ましい態度について学ぶ。<br>・著作権と著作権法について学ぶ。<br>・プライバシーと個人情報漏洩の対策について学ぶ。 | ○ | | | ○ | a,d:情報モラルを身につけている。<br>a,d:個人情報の正しい取り扱いを身につけている。<br>d:情報犯罪の種類や安全対策を理解している。<br>d:著作権や著作権法を理解している。 | ・授業観察<br>・プリント<br>・小テスト<br>・発表 |
| | 社会における情報システム<br>❶情報システムの種類<br>❷情報システムの発展と進歩<br>❸情報化と社会の変化<br>２　情報システムと人間<br>❶情報システムの信頼性<br>❷誰もが参加できる情報社会 | ・情報システムの種類と特徴について学ぶ。<br>・情報システムが利用されている事例について学ぶ。<br>・情報技術による社会変革について学ぶ。<br>・情報システムの問題点とその対策について学ぶ。<br>・情報社会の問題点とユニバーサルデザインについて学ぶ。 | | | | ○ | d:情報システムの種類と特徴について理解している。<br>d:情報システムの問題点とその対策について理解している。 | ・授業観察<br>・プリント<br>・小テスト<br>・発表 |
| | 情報社会と問題解決<br>❶解決のステップ<br>❷実際に解決してみよう | ・問題解決の手順と情報機器の活用例について学ぶ。<br>・ブレーンストーミングや KJ 法を利用して、問題解決の演習に取り組む。 | ○ | ○ | | ○ | a,b:情報社会の問題点に関心を持ち、解決策を提案することができる。<br>b:意見を共有し、構造化することで、問題解決につなげることができる。<br>d:問題解決の手順について理解している。 | ・授業観察<br>・プリント<br>・小テスト<br>・発表 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）を示している。